

2012年10月11日
日本郵便株式会社

第25回万国郵便大会議における選挙の結果

(郵便業務理事会の議長就任について)

カタールのドーハで開催中の第25回万国郵便大会議において、10月10日（現地時間）に、万国郵便連合（UPU）の郵便業務理事会の議長選挙が行われました。

この議長選挙に、日本は初めて立候補し、満場一致で選出され、日本郵便株式会社郵便事業総本部国際事業部長の目時 政彦（めとき まさひこ）が今後4年間、議長を務めることとなりました。

万国郵便連合は、全世界で192か国が加盟し、国際郵便に関する基本的なルールを決める機関であり、中でも、郵便業務理事会は、大会議間の4年間における、実質的な最終意思決定機関となります。電子メールの普及等による郵便物数の長期減少傾向の継続、ユニバーサルサービスの確保、急送便市場での競争、国際郵便のセキュリティ強化の要請など、世界的に郵便事業体が克服していかなければならない課題が山積している中で、その解決に向けて議長としてのリーダーシップを発揮できるよう、弊社としても積極的に協力して参ります。

（参考）

1 最近の郵便業務理事会の議長

2009年から2012年まで ギリシア
2005年から2008年まで 米国
2000年から2004年まで ポルトガル
1990年から1999年まで ロシア

※ 任期は、2000年以降は一期4年、それ以前は一期5年。

2 郵便業務理事会の概要（UPU全体の組織図は別紙のとおりです。）

- 大会議ごとに選出される40理事国で構成し、国際郵便の取扱いに関するルールの策定、世界各国の郵便の状況の調査・研究、これらに伴う各種情報の提供等を行う。
- 具体的には、国際郵便の取扱いに関するルールづくり、国際郵便の品質向上に向けた取り組み（RFID技術を活用した世界的なモニタリングシステムの拡大）、EMS（国際スピード郵便）の追跡システムの普及・高度化、最近では欧米当局の航空セキュリティ強化に対応したシステムの構築、郵趣交流の支援、Eコマースへの取組みなど、その活動は多岐に渡る。

3 関連する報道発表

「第25回万国郵便大会議の開催」（平成24年9月12日 総務省発表）

「第25回万国郵便大会議における選挙の結果」（平成24年10月11日 総務省発表）

「万国郵便連合（UPU）管理理事会及び郵便業務理事会理事国選挙並びに郵便業務理事会議長選挙への我が国の当選」（平成24年10月11日 外務省発表）